

# 特別支援教育とは？

特別支援教育とは、視覚障害、聴覚障害、言語障害、知的障害、肢体不自由、病弱などの心身の障害や、発達障害の子どもたちを対象とした専門的な教育のことです。特別支援学校の教員になるためには、小学校・中学校・高等学校又は幼稚園の教員の免許状のほかに、特別支援学校の教員の免許状を取得することが原則となっています。



## ポイント ①

### 3種類の教員免許が同時に取得できる！

特別支援学校で働くためには、教員の基礎免許（幼・小・中・高のいずれか）に加え、特別支援学校教諭免許の2つが必要ですが、本学科では、「中学校教諭（社会）」・「高等学校教諭（公民）」の免許とあわせて、「特別支援学校教諭」の免許を取得することができます。

## なぜ福祉学科で、特別支援教育？

幅広く社会福祉を学ぶことで、社会や学校で生きづらさを抱える子どもたちに適切な教育的支援ができるようになります。



「障害」と社会を結ぶ教師になる…

## ポイント ②

### インクルーシブ教育に求められる学問ができる！

時代は、多様な人を包み込む共生社会の実現に向かっています。教育も同じです。学校で生きづらさを感じている子どもは、障害のある子だけではありません。貧困下に置かれた子ども、性的に少数の子ども、外国にルーツのある子どもなども同じです。社会福祉学科では、こうした生きづらさを抱えている人々の支援について学びますが、この学びは、これからの特別支援教育に欠かせない学びなのです。